

平成30年度第4回東郷町地域公共交通会議 議事録

1 日時

平成31年3月13日（水）午前10時から

2 場所

東郷町民会館 大会議室

3 出席委員

17名（欠席3名）

4 町側

企画部長、福祉部長

5 事務局

生活部長、くらし協働課長、係長、主事

6 傍聴者

5名

7 会議支援

(株)国際開発コンサルタンツ

8 会議内容

議題

(1) 前回会議の結果について

ア じゅんかい君の目的等について

イ 赤池駅等へのアクセスの検討について

ウ バスターミナルの計画について

(2) 巡回バス再編案作成業務について

ア 意見交換会の結果について

イ 巡回バス再編案について

(3) バスマップの修正について

(4) 平成31年度東郷町地域公共交通網形成計画実施事業スケジュールについて

(5) 平成31年度東郷町地域公共交通会議予算について

(6) その他

9 会議記録

別添のとおり。

**【事務局】**

ただいまから、平成30年度第4回東郷町地域公共交通会議を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは次第に沿って進めさせていただきます。

会長から挨拶をお願いいたします。

**【会長】**

皆さんおはようございます。今日も新聞に載っていましたが、いよいよタクシーの定額運賃制度が始まります。乗る前から金額がわかるというのは安心感につながり、タクシーの利用につながっていくと思っております。

今じゅんかい君の再編を考えているところですが、全てをバスで賄うのか、あるいは違うものを入れていくのか。あるいはこんなものがあつたらいいんじゃないか、そんなことも含めながら検討していけばと思っております。

今回も引き続きじゅんかい君の再編について皆さんから御議論いただきたいと思っております。住民の方々から聞いた意見交換会の結果等々も御紹介させていただきますので、今日も忌憚なく御意見いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局】**

ありがとうございます。

それでは、ここからは会長に議題の進行をお願いいたします。

**【会長】**

それでは、議題(1)ア じゅんかい君の目的等について説明をお願いします。

(事務局より議題(1)ア じゅんかい君の目的等について説明)

**【会長】**

改めまして、じゅんかい君の位置づけをここで明確にさせていただいたこととなります。

第1番目に空白地域をなくし、町内の方々皆さんが公共交通を利用できるようにすること、第2番目は町内の交流として町内の公共施設や通院、買い物等に利用できるように

というところが何よりの目的になってくるかと思えます。

これに関しまして御質問、御意見等ございましたらいただければと思えますが、いかがでしょうか。

ご存知のように普通は公共交通、バス、タクシーの運賃というのは国の認可運賃となりまして、簡単に言いますと、いわゆる安全の確保、そしてドライバーの方々の生活を保障できるだけの金額を収受できるところから設定されていますから、あまり安い運賃というのは本来成り立ちません。

ところが、道路運送法の改正により、公共交通会議で関係者の皆さんの合意が得られる場合に限って、特別に安い運賃が実現できています。それは当然なことですが、税金を投ずることによって、乗らない方々も支払うことによってそれが実現できるということになります。

じゃあ、その税金を投じたコミュニティバスの役割って何なのかと改めて見ますと、先ほどの話になります。ここはいま一度確認いただければと思えます。

続きまして議題(1)イ 赤池駅等へのアクセスの検討について事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(1)イ 赤池駅等へのアクセスの検討について説明)

#### 【会長】

前回、赤池駅への乗り入れをということでお話がありまして、事務局では検討しておりましたが、その結果を皆さんに御説明しておりませんでしたので、今回改めまして、こういう形で検討して、結果としては困難だという判断があったということをお示しさせていただいたこととなりますが、これに対しまして御質問、御意見をいただければと思えます。

#### 【委員】

この案1、案2で「検討結果」と出ておりますが、これはどなたとどなたがどういう場で検討された結果になっているのでしょうか。

**【事務局】**

こちらについては、今回路線再編を検討する上での委託業務の中で、路線の計測であるとか諸状況、現在の名鉄バスとの状況ということもありますが、事務局と、名鉄バスには事前にこういった協議については、考え方を提示させていただいた上で、今回の議題とさせてはいただいております。

**【委員】**

この検討結果の上のほうにある所要時間や考慮すべき事項というのは、提案として納得できるんですが、事務局側で検討して検討結果がこうでしたと出されたのでは、この委員会の意味はありますか。

**【会長】**

そういう意味で、前回委員から御指摘ありまして、おっしゃるとおりだということで今回あえて出させていただいております。そして、先ほど事務局も申し上げましたが、事務局としては困難だという判断ではあります。でも、検討はしないといけないということでもありますので、これはこれで事務局の案ということで捉えていただきたいです。

この後、住民の意見出てきたうえで、具体の再編案の内容がこの後も検討が始まりますので、乗り入れを全く不可能というわけではなくて、検討できるとは思っておりますが、事務局、それでよろしかったですか。

**【事務局】**

はい。こちらは、現在の状況から考えられる一つのまとめでございます。

ただ、これに対して御意見があれば、当然この会議の中での意見を踏まえて、会議としてのまとめという形にもなろうと思っておりますが、この後の議題の中でも赤池についてのお示しもありますので、そこまで見ていただければとも思います。御意見については、この案についてもいただければとは思っています。

**【委員】**

このように検討結果と出されていると、これはもう結果ありきになりますので、せめて検討結果案、（案）ぐらい入れてほしいと思います。

**【会長】**

これはあくまでも事務局での検討結果ですので、この会議での検討結果ではない。確かにその位置づけがこれだと明確でないので、あくまでも事務局案ということで扱っていただきたいと思っております。どこかで「事務局で検討した結果でしかない」と書いておいてください。

**【事務局】**

これは事務局案ということで御理解ください。また表記につきましては考えます。

**【会長】**

書くなら、例えば一番上のタイトルに「赤池駅への巡回バス路線の事務局による検討」と書いて、補足するなら、公共交通会議としての検討結果ではないということは付記しておいてもらったほうがいいかもしれませんね。

**【事務局】**

そういたします。

**【会長】**

この前提というところで、バスが3便ぐらい減る、あるいはさらに渋滞に巻き込まれたことを考えるともっと減りそうだとかいったところがかかれております。あるいは名鉄バスさんとの競合の話や、運賃に関しても果たしていいのだろうかということも書かれております。

これに関して、何か追加的に御意見、御質問等あったら、いただければと思いますが、いかがでしょうか。

**【委員】**

東郷町におかれましては、町長が公約で赤池へ接続したいということで、赤池へのバスの乗り入れというのは悲願であるという認識はありますが、一方で、歴史的に見てずっと東郷町が赤池に今まで接続してこなかったというのは、やはり先ほどの赤池周辺の渋滞やロータリーの混雑という背景があって、日進駅のほうへという動きだと思えます。

日進市も平成 29 年に路線再編しました。赤池へ行きたいというニーズが高いのは東郷町と日進市も同じような状況でしたが、何とかそれを分散したいということで、日進駅のほうへ流すように工夫して路線再編しております。

赤池周辺の渋滞は非常に厳しい状況になっていまして、我々日進市内の路線においても、ロータリーまで入れてしまうと遅延があまりに大きくなるということで、あえて赤池駅北ということで、ロータリーに乗り入れせず、その近くを通して流している路線もある状況です。

問題として一番大きいのが、この案で示されているとおり、赤池駅まで今のじゅんかい君を延伸した場合に 1 周当たりの時間が非常に伸びてしまう。当然 1 周当たりの時間が伸びると便数が大幅に減るということで、利便性が大きく損なわれる部分があると思います。特に、ららぽーと渋滞と赤池渋滞の二重の苦しみを味わうことになると思います。

加えて、実は、去年の秋からバス運転手の労務管理が非常に厳しくなっておりまして、遅延も含めてダイヤシフトを組まないと、運送事業者さんが労務管理上ペナルティを受けて、補助等支援がもらえなくなります。例えば長久手市さんなんかは、運転士の労務管理の関係上で減便しているという状況になります。そういったところも踏まえると、今まで 1 時間 1 本で来ていたのが 1 時間半に 1 本とかいう形になると、非常に厳しいと思っております。

じゅんかい君で赤池駅に行きたいという意見が非常に多いということですが、なぜじゅんかい君で来たいと皆さん思われているのかというのはよく調べていただく必要があると思います。

東郷町からも赤池駅には色々なバスが出ているはずですが、特に星ヶ丘・豊田線や祐福寺線は赤池に非常に行きやすい路線になっているのかと思います。65 歳以上無料ですので、ただで行けるから行きたいということであるのであれば、そこへの乗り継ぎをよくして、例えばつなぐと料金も安くなるよということを検討する方向でも考えていただけるといいと思っております。

#### 【会長】

貴重な御意見いただいたと思っております。

赤池駅に乗り込もうと思うと、そもそもロータリーのキャパシティという問題があります。現状、皆さん御存じのように赤池駅のロータリーは大変混雑しております。その辺のデメリットを考慮すべき事項になるのかもしれない。

## 【委員】

委員から、本当に言いたかったことを全て網羅していただいたかなというところですか。ありがとうございました。

まさにそういった状況の中で、周辺の市町も、遅延に対する対応で配慮をいただいているのは事実です。過去の経験からも、商業施設付近についての渋滞というのは、声は高いですが、なかなか利用増にはつながっていかないというのが現状です。一般車両による渋滞によって正しく運行管理が保てないという状況で、車両または人を投入して対応してきた経緯がございます。

また、今回、赤池駅への乗り入れについては、我々としては、赤池へ乗り入れさせていただいている路線をいかに充実させるか。東郷町のじゅんかい君におきましても、じゅんかい君との接続を、いかに効率化し、乗り継ぎしやすい環境をつくっていくかを考えておきまして、東郷町との打ち合わせの中でもそういったことに対するお話もさせていただいているわけです。

実際に乗り継ぎのお話も先ほど委員から出ましたが、まさにそういった対策で、いかに全体が利用しやすくなって、利用する方がもっともっと増えていかないかという打ち合わせ、議論をさせていただいております。

名鉄バスとしては、東郷町にお任せするばかりではなくて、当社としても何ができるのかを模索しながら、今後も検討を継続していきたいと思っておりますので、御理解いただきたいと思います。

## 【会長】

いろいろ御意見いただきましたが、大事なのは、じゅんかい君で赤池に行きたいという形が出てきておりますが、そもそものニーズは何かというところを我々しっかり捉えないといけないということです。

委員が言われましたが、無料だから、安く赤池へ行きたいという意味なのか、そもそも赤池という目的地があってそこに直接行きたいのかとか、いろいろあると思います。

なかなか日本で実現できていませんが、海外に行くゾーン制度というのがありまして、いわゆるゾーン帯によって運賃が一緒になります。例えば日進市というゾーンができた場合、米野木駅、日進駅、赤池駅から名古屋市内に行くのは全部同じ運賃なんていうのが実現した場合、本当に赤池に行きますかということです。そうすると、一番近い日進駅や、

米野木駅の近くの人だったら米野木駅を利用すると思います。

現状では、当然安いということではじゅんかい君を利用して無料で赤池ということになりますが、違う方策を考える可能性は十分あり得ます。すなわち、これも委員が言っていただいた乗り継ぎの抵抗をいかになくすかということも関わってくるので、短絡的に結ばばいいというわけではなくて、本当のニーズが何で、そのニーズを満たすための方策としてほかに何かないだろうかということもぜひ一緒に検討していきたい。

ただ、それが何ともならない、八方ふさがりであれば、やっぱりじゅんかい君で結びましょうということになるかと思いますが、いろいろなオプションがあるんだということも我々認識しておかないといけないかと思っております。

先ほどのゾーン制度の話は、いわゆる初乗り運賃が赤池から先で加算される。そこが大きいです。日本の鉄道会社あるいは運輸事業の場合は初乗りでもうけている部分が多いので、なかなか難しいです。そこに国のお金が入って、そして日本中の公共交通が維持されるような、欧米のような仕組みになるといいと思っています。

#### 【委員】

私も、赤池赤池と言っている一人ですが、これは既存のバス路線、バス会社さんとの共存共栄。圧迫するようなことではだめだと、これは認識しております。でも、赤池へこの巡回バスが入ることによってその利便性が増した場合は、送り迎えの車はその分、利用した人の分減ります。混在緩和には一部貢献できると思います。

そんな中で、まさに言われた、この案2のところにある適切な運賃設定まで検討しなければ、一方的に片方を圧迫する。これだから堂々めぐりで、結局答えが導き出せない。やはりその運賃体系も含めた、また、バスの便数の問題も含めた検討の上で、共存共栄でいけるように皆さんの利便性を図るような。

赤池に送り迎えの車が殺到しているのは、はっきり言って公共交通があまり便利でないから送り迎えが多いです。その辺もよく考えていただいて、今後、公共交通機関がもっともっと便利になれば利用者も増えてくると思うので、そういうことも含めての公共交通会議としての使命を考えていただきたいと私は願っています。

#### 【会長】

まさに皆さんと同じだと思っております。



そういうことで、別に全然これがだめだと言ったわけではないので、この後も検討していきたいと思います。そういった共存共栄の道、あるいは送迎が減るような方策を皆さんで考えることができたらいいなと思っております。

ひとまず事務局の案ということで今回御紹介いただいたと御理解いただければと思います。

### 【委員】

私が申し上げておきたいのは、町長の公約で巡回バスを赤池駅にという話で、巡回バスが行かなければいけないという話であれば元も子もないですが、何が重要かというのと、巡回バスが赤池駅に行くということではなくて、赤池駅に行きたい人がより便利に赤池駅に行けるということが本来重要になってきますので、そのためにどうすればいいかを考える必要があると思います。

現状、赤池駅に東郷町から行っているバス路線が名鉄バスで2本ありまして、例えばこのアンケートでは、プライムツリー赤池店に行きたいという方が非常に多いですが、例えば現状名鉄バスに乗ってプライムツリーに行っておられる方がおるのかと考えると、私はそんなに多いとは思えません。

「行きたいですか」と聞くと、大体「行きたいです」と皆さんおっしゃられる。具体的な町村名は申し上げないですが、ほかの町でも同じようなアンケートをとりまして、交通局の地下鉄のとある駅に行きたいですかというアンケートをしたら、その地域の大多数の人が行きたいとおっしゃったので実際に走らせてみると、誰も乗らなかったというようなことが結構あります。

これは本当に行きたいのかという部分の精査が必要なのと、先ほど委員からもお話がありましたように、なぜじゅんかい君なのか、なぜ名鉄じゃいけないのかという話があると思います。

仮に今回の案でじゅんかい君が行ったとしても、名鉄バスの頻度を超える頻度で赤池駅に行けるとは思えませんし、もしそれを実現しようと思うと、町の財政負担が非常に大きくなるという問題もあります。

なぜ名鉄じゃいけないのかとなった場合に、考えられるのは運賃の話だとは思いますが、その場合に、じゅんかい君を無料とか安い運賃で走らせるのか、もう1つの手段は、名鉄に乗り継いだときに町が補助をするというやり方もあると思います。町として

最終的にどちらの財政負担が大きいのかということ考えた場合に、また違った答えが見えてくると思います。

当然じゅんかい君を走らせる案ですと、最低3便減ったときに、それを補うために新たなバスを導入して運転手を1人追加してとなった場合の財政負担の精査も必要になりますし、逆に、減らしたままですと、赤池へ行きたい人のために、赤池へ行きたくない人の利便性を落としてもいいのかという部分の協議も十分必要になってくると思います。

最終的には、例えば渋滞の問題もありますので、名鉄バスに乗り継いで行っていただける格好にしてしまえば、渋滞の関係は名鉄バスが悩んでいただければいいという格好にもなりますし、そういう意味では、じゅんかい君のダイヤは乱さずに、定時性を守れると思います。

あと、費用的なこともあります。運賃の補助、乗りかえ環境、待合室についてですが、先ほどの場合、例えば赤池駅へ迎えに行く人が多いという話であれば、バス停に迎えに行けるようにすれば、皆さん赤池駅じゃなくてバス停に迎えに来て、バス停から自宅へ帰っていただけるような、パーク・アンド・ライドとかキス・アンド・ライドとかいう格好を考えていくこともできますので、どうすれば最終的には赤池やプライムツリーに行きたい人が一番便利で妥当な運賃で行けるかということを考えていただくというのが、まず第一だと思います。

あと、もう1つ外してはいけないポイントとして、当然同じところへ行くバスが、違うバスが2本走りますと、当然それぞれのお客さんが分散するわけですから、それぞれのバスの効率性が落ちます。

現状名鉄バスが運行していますので、名鉄バスの利用者が減るということはまず間違いないと思います。また、名鉄バスの路線は東郷町だけの路線ではなくて、東郷町からほかの市町も通っている幹線という扱いになりますので、例えば東郷町でバスを走らせるなら減らしましょうという話になって利便性が悪くなると、東郷町の方も困りますが、その沿線にある全ての市町の利用者さんも困るという格好になります。そういう意味で、幹線も大事にさせていただくという視点で考えていただく必要があると思います。

じゅんかい君を赤池に入れるということにこだわらずに、どうすれば一番便利になるかということで考えていただくのが重要であると思いますので、よろしくお願いします。

**【会長】**

ということですので、要は赤池へ行きたい人たちがどれぐらいいるのかわからないということでしたが、バスで行きたい人たちがいて、その人たちが便利に行けるような方策を総合的に考えましょう。これは確かにおっしゃられるとおりでと思います。それをこの後、皆さんで知恵を出し合いながら検討させていただければと思っております。

ここはあくまでも事務局案ですので、公共交通会議として、この会議体としてどういうふうに赤池へつなぐのつながらないのかといったところは、再編案で御意見いただきたいと思っております。ありがとうございました。

続きまして議題(1)ウ バスターミナルの計画について事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(1)ウ バスターミナルの計画について説明)

**【会長】**

現段階でわかっている情報をこういう形で御提供いただきましたが、何か御質問、御意見等ございましたら、いただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

ちなみに、鳥瞰図イメージは南から北東方面を見ているというイメージでよかったですよね。

**【事務局】**

はい。

**【会長】**

ということですので、バスターミナルは今のところ南側に設置される予定だそうです。今の名鉄バス豊田線でいうと、南のほうにかなり迂回ということになりますので、そういう意味では厳しいのかもしれませんが、その辺は今後要検討かと思っております。

あと、今後どういう段階で検討するのかかわからないですが、一番最後の周辺道路図を含めて、入庫・出庫経路がどういうふうに設定されていて、それとバスの経路がどういうふうに重なるかというのを検討いただくといいかと思っております。

場合によっては、入庫経路に関して渋滞が発生しそうであれば、少しセットバックして

いただいて引き込み線みたいなものをつくってもらおうとよいと思います。いわゆる一般道路のほうに入庫待ち車両の影響が出ないような形にってもらおうというのが1つの方策として十分あり得るなと思っています。

鳥瞰図を見てもらおうと、西のほうから来る車が並んだら、もうバスがそこで止まってしまいますので、そうすると緑がありますので、少し引き込み線みたいなものをつくってもらおうというのも手だと思っています。大きい視点で全体も含めて見てもらったほうよいと思います。

まだ今ならいろいろ検討可能だと思っておりますので、お願いしたいと思っています。

#### 【委員】

補足ですが、店舗の南側にターミナルが設置されるということで、星ヶ丘・豊田線につきましては、和合西口というバス停が、このお店の最寄り停留所ということです。

今の計画上、星ヶ丘・豊田線については店舗から一番近い停留所もあるということで、南側へ迂回すると既存のお客様にもかなり影響が出るだろうということで、今の段階では和合西、最寄りの停留所を活用させていただくということで、今のところ、知立から来ます日進駅へ入る系統、愛教大線のターミナルへの進入を検討させていただいております。

#### 【会長】

そういう意味では、和合西からの歩行者のアクセスもぜひ確保いただくようお願いしたいですし、場合によっては、和合西のバス停の環境構築みたいなものを作ってもらうといいですね。

ここは本数が多いので、そこでのアクセスは十分あり得る気がします。ありがとうございました。

#### 【委員】

開業当初は非常に激しい渋滞が予想されます。図面を見る限り、バスターミナルの前後は駐車場の入り口になっていない感じですが、多分開業当初は、駐車場入り口だけではなく、長久手のイオン、プライムツリーなどの商業施設のとおり、道路全てが渋滞します。 そうすると、当然バスのダイヤが非常に乱れるという部分もあり、ららぽーと

に行かれる方は渋滞してもやむを得ないと納得してくれるますが、皆さんがららぽーとに行かれる方ばかりではないので、そういう方が影響されるということも考えますと、やはり渋滞が激しい特異日というのはあえてこの付近に立ち寄らない迂回ルートを設定し、ららぽーと利用者には若干不便になりますが、少し離れたところで乗降していただくようなことも考えていく必要があるのかなと考えます。

これが落ちついてきて、土日も若干の渋滞で済むようになれば、バスターミナルに入って利便性を確保していただくということは当然考えられると思いますが、非常に大きい渋滞で、それこそ1時間遅れ2時間遅れというダイヤになってしまいますと、乗っている方はいつ着くかわからないですし、運転手はこの路線だけを走っているわけではないので、全くららぽーとと関係ないほかの路線を走っているバスにも影響が出てくることになりかねませんので、その辺は御理解をいただくとともに、先ほど会長からもお話がありましたように、離れたバス停からのアクセスを配慮していただくということが必要ではないかと思しますので、よろしくをお願いします。

**【会長】**

そのほか、いかがでしょうか。

**【委員】**

まだバスターミナルの利用経路というのはこれからの話だと思うんですが、今、東郷町では巡回バスが4路線走っています。それを全部このバスターミナルに入れるということになったときに、果たして東郷町内のじゅんかい君の機能が果たせるのか、麻痺するんじゃないかという懸念が今の段階では十分考えられます。

その辺を含めて、じゃあ巡回バスをどのようにここへ入れて利用するかをよく考えていただかないと、巡回バスだけの混雑、時間遅れに限らず、巡回バスをほかのところへ行くのに利用する人に多大な迷惑がかかります。そういうことも含めて、今後よく検討していただきたいと思います。

**【会長】**

この巡回バスを再編するに当たっては、当然みんながみんなここに来るわけじゃない、ほかのところにも影響があるかもしれないので、それを検討してください。

**【委員】**

ららぽーとが新しくできたときに、すぐにここを巡回バスの運行ルートに入れる計画だとかなり混乱になります。

私も、港の新しくできたららぽーとへ、できてから 1 か月後ぐらいたってから行きましたが、それでも相当な渋滞ができています。

最初からバスターミナルへ入れるということをやられるのか、あるいはじゅんかい君自身は、今の形でとりあえず運行しておいて、交通渋滞が安定化してからじゅんかい君を入れたほうが良いと思います。

**【会長】**

幸い、この周辺ではイオン長久手やプライムツリーで痛い目に遭っておりまして、十分その辺を事務局は認識しているかと思しますので、導入時期もいずれ検討するという事でよろしいですかね。

そういった御意見を踏まえながら、これまでの経験を生かしながら、大混乱しないように進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

ちなみに、今、名古屋市のららぽーともそんなにもものすごい渋滞という感じではなくなっています。そういう知見を有効に活用しながらやっていければと思っております。

ただ、イオンの長久手と名古屋港のららぽーとと違うところは、そばに駅がないところで、大きいところかと思っております。

続きまして議題(2) ア意見交換会の結果について事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(2) ア意見交換会の結果について説明)

**【会長】**

意見交換会で、各地区でこのような御意見をいただいたということです。

何か御質問等ございますか。

**【委員】**

日にち設定のことです。

済んだことだからしょうがないですが、実は、2月16日というのは、白土では、

区の行事で七次行事の大きな行事の一つのコミセン祭りが 17 日曜日に催されました。その事前準備で、16 日は区の役員、評議員、主だった人、女性の会、子供会全員がコミセンで働いていて、この会議にはそういう人が出られない状況の日には設定でした。

この会議設定の日には、区の行事等とバッティングしないような日にはちを選んでいただけなかったのかなと残念に思っております。そのことだけ、今後考えて頂きたいなど思わせていただきました。

#### 【会長】

その辺は事前に、特に区長さんと連絡を取って、開催日時を検討していただくように、今後、ぜひ参考にいただければと思いますので、よろしくお願いします。

続きまして議題(2)イ 巡回バス再編案について事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(2)イ 巡回バス再編案について説明)

#### 【会長】

ということで、地域の方の御意見を聞きながら一部修正をして、今回再編案、見直し案、再編案の見直しということで将来案と、その途中でデマンドもやっていきますといった御提案をいただいておりますが、これに関しまして御質問、御意見等ございましたらいただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

#### 【委員】

デマンドの実証実験というのは、どういうやり方を検討されているんですか。

#### 【事務局】

デマンドの実証実験の方法ということだと思いますが、現在、具体的にこうだとお示しまではできていないですが、現状よく行われておりますのは、タクシー、ジャンボタクシーや一般のタクシーを借り上げるやり方や、あき時間を利用するやり方があります。

例えば1便あたりの利用料のやり方についてはさまざまありますが、必要台数や、その運行する範囲、乗れる資格のある方をどう登録するかは、今後検討していきたいと思っておりますが、巡回バスの補完的な役割を果たすためのデマンドとしたいというのが第一に

ありますので、使われる方の地域的な制限というのは当然あるかとは思いますが。一方で、その便利さに対する運賃の設定だとかいったところもあわせて、バランスよくしていく必要があります。

このデマンドがほかの交通との競合をさらに加速するようなことになってはいけませんので、必要な範囲、サービス水準というのは、ほかのサービスとのバランスを考えて設定する必要があるのかなと考えております。

#### 【会長】

様々な方策がありますので、それを地域の方々あるいは地域の特性に合わせてこれから検討していきたいということだと思っております。

場合によっては、地区によって異なるパターンもあります。

#### 【委員】

同じく実証実験の話ですが、デマンドで実証実験をやっていただくということで、まだ詳細は決まっていないので今後詰めていただいて、手続があるようであれば、早目に御相談いただきたいです。1つ御参考にしていただければというのがあります。

実は、デマンドというのは、皆さんそれほど好まれていません。聞くと、デマンドがいいとおっしゃるんですが、実は、デマンドをやっているところは、実際始めると、さほど乗っていただかないというのがあつたりします。

なぜかというと、予約するのが面倒くさい、予約するぐらいだったら、本数は少なくてもいいから定時定路線で走らせてほしいという意見もあります。

今回、この定時定路線で走りつつデマンドもやるという話になると、もしかすると、予約が面倒くさいから今の巡回バスに乗っていきますという話にもなると思うので、実験後の検証については、その辺も含めて検証していただくのが必要かと思えます。

今後、もしじゅんかい君がなくなってデマンド一本になった場合は、このエリアの方にデマンドを使っていただく格好にはなると思うんですが、気をつけていただきたいのは、デマンドでよくある話が、特定の人ばかり利用されることがあります。そのエリアの方に使い方をよく熟知していただいて、先ほどの予約に関する抵抗とかいうのをいかに下げていくかという部分もあると思いますので、その辺も含めて今後しっかりと制度設計をしていただくのが必要かなと思いますので、よろしく申し上げます。



【会長】

アドバイス、ありがとうございます。そういったことを注意しながら検討いただければと思います。

少し整理させていただきますと、今回の事務局案としては、まず3ページ目、現行のルートで先行的にデマンドの実証実験を3つのエリア、これが同時になるのかどうか分からないですが、この3つのエリアで検討してできるところからまずは進めるということですかね。

そして、その状況を見ながら、2ページ目の将来像に向けて、場合によってはデマンドが入って一部路線がなくなり、場合によってはデマンドじゃなくてやっぱり路線そのままというような形になっていくというイメージを持ってよろしいですか。

【事務局】

はい。

【会長】

そして、この赤池への検討とか、ほかにも赤い点線が入っているんですが、これは何を表していましたか。

【事務局】

赤い破線については、まだ具体的な目的地を細かくは決めていませんが、デマンドのエリアから利用できる地域を表しています。

【会長】

わかりました。

先ほどの乗り入れについては、少し時間的に時間差を設けては、開業と同時ではなくてというような話がありましたが、時期的にどんな感じでしょうか。

【事務局】

やはり初期の渋滞によるダイヤの乱れなどは当然避けなければならないと思っておりますので、開業当初から乗り入れるかどうかについてもこの場で協議していきたいと

思います。やはり例えば3カ月ごとの検証であるとか、交通会議がおおむね年4回ぐらいありますので、それにあわせて、その時々渋滞状況などを報告しながら、そろそろいいのかなとか、どれぐらいを下回ったら乗り入れできるのか、ある程度基準なども共有できればいいと思っています。まだ具体的には時期は定めておりませんが、交通会議ごとの進捗会議を追いながら、なるべく渋滞が落ちついたところで早期に乗り入れができるといいと思っています。

**【会長】**

ららぽーとが2020年秋ですので、イメージ的には来年度実証実験を始めます。時間軸上で少し想定を説明いただけますか。

**【事務局】**

実証実験については予算も伴いますので、来年度は内容の検討ということで、予算措置をその翌年度に向けてやっていけたらと思っています。

この結果を反映させていくタイミングとバスターミナルの開業がなるべく合ってくるように、時期は絞っていきたいと思いますが、来年度については前半でデマンドに関する中身を詰めていく必要があると思います。予算措置の時期までには何とか予算化できるような検討まで進めていきたいと思っています。

**【会長】**

赤池の移動についても、来年度かけて検討していくという形でイメージしていいですか。

**【事務局】**

はい。

**【委員】**

デマンドについてですが、私は、あまり事例をよく知らないですが、かなりの町村で実行しているところができていると思います。このデマンドをやめたところがあるのかどうかはわかりませんが、撤退したところがもしあったとしたら、今後のために何が原因か調べる必要もあろうかと思っています。

デマンドをやっているところの実態で、どの程度の効果が上がっているか。確かに特定の人ばかり使うような問題もあるかもしれない。でも、非常に助かっている人も多いかもしれない。先進地のいろんな事例を参考にさせていただいて、今後このデマンドについては検討していただきたいと思います。

#### 【会長】

幸い、国のほうでもそういった取りまとめもされておりますので、情報はたくさんあるかと思えます。事務局にその辺しっかりと情報収集をお願いしたいと思います。

撤退の事例で先ほどから話題になっておりますが、やはりドライバー不足で、もう引き受けられないなんていうところもあります。もっと言うと、デマンドをやりたいんだが、そもそもタクシー会社が引き受けられないというところもあります。そういう意味では、東郷町はまだ幸いなとは思っておりますが、やっぱり一番大事だなと思っているのは、行政が何もかも用意するよりは、地域の方々に地域の方々が望ましい形を考えてもらう仕組みをつくるのが何よりも大事かと思えます。

結果、みんなで利用してもらえますし、持続可能な仕組みになるかなと思っておりますので、こういう地域に根差した交通を考える場合には、検討の主体を行政から住民側に移していくということが望まれると思っております。それはまさに担当者の手腕次第です。

こういう仕組みって難しいですね。今まで行政が中心にずっとサービスを提供してきましたが、そこをボトムアップに変えていくということですので。パラダイムシフトになっていくと思うんですが、まさに望まれることかと思っております。

来年度1年間かけてさらに詳細を検討していくということになりますし、この後色々な状況が見えてくることになってくるかと思えます。新しい高齢者の方というのは変な言い方かもしれませんが、これから年をとっていかれる方々は、多分スマホが使えるような方々も増えてくるかと思えますので、そういう状況も変わってくると思っております。

続きまして議題(3)バスマップの修正について事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(3)バスマップの修正について説明)

#### 【会長】

時刻表の字が小さくて見えにくかったところがありますので、今回こんな形で大きく

なって、大分見やすくなります。

もう1つは、いろんなところでやられておりますが、マイ時刻表っていうんですかね、これを書ける部分をつくってあげようということですが、これに関しまして御質問、御意見等ございましたら、いただきたいと思います。

バスマップ御利用されている方々、どう使われているか見ますと、いろいろな使われ方がありますが、結構御自分のバスマップを、クリアファイルをバスマップの大きさに切ってきれいにしまって、それをいつも持ち歩くとか、そんなのを見たりします。今回マイ時刻表ができれば、多分それを表にしながら持つんですかね、あるいはちょうどよく見る時刻表のところだけを折り畳んで表にして、そこにマーカーをつけて、それを持っているとかいう形になるかなと思います。いずれにしても、こうやって大きな字、あるいはマイ時刻表ができるのはいいことかなと思いますので、こういう形で進めさせてもらってよろしいでしょうか。

では、御異論ございませんようですので、これで進めただければと思います。

ちなみに、発行東郷町役場未来プロジェクト課と書いてありますが、これ何ですか。

#### 【事務局】

組織の再編の予定がございまして。来年度の組織機構改革の中で、公共交通に係る事務が、来年度新設を予定しております未来プロジェクト課というところに移ることが決まりました。

来年度所管が変わり、現在、生活部のくらし協働課でやっておりますが、それが来年度、企画部の未来プロジェクト課というところで行われることとなりますので、来年度以降またよろしくお願ひしたいと思います。

#### 【会長】

大分イメージが変わりますが、未来プロジェクト課の名称だけを見ると、いわゆる地域の方々の町内の移動をどうやって考えるかというよりは、もっと最新の技術を入れながら未来に向かってというような感じになりますが、そういう意味では自動運転とかやりましようかね。ありがとうございます。余談です。

続きまして議題(4)平成 31 年度東郷町地域公共交通網形成計画実施事業スケジュールについて事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(4)平成 31 年度東郷町地域公共交通網形成計画実施事業スケジュールについて説明)

**【会長】**

来年度行う事業のスケジュールということで、こういう形で進めていこうということです。ちなみに、網形成計画で策定している事業というのは、全て予定どおり進んでいますか。

**【事務局】**

進捗の達成したものとそうでないものとありますので、その部分も網羅しながらいきたいなと思っておりますが、取り組みができない部分は、今後も継続してやるかどうかということを次の計画策定の際には検証していきたいなと思っております。

**【会長】**

網形成計画に則った形でやっていこうということです。

ありがとうございました。では、このような形で進めてまいりたいと思います。

続きまして議題(5)平成 31 年度東郷町地域公共交通会議予算について事務局から御説明をお願いいたします。

(事務局より議題(5)平成 31 年度東郷町地域公共交通会議予算について説明)

**【会長】**

会議費、公共交通会議の予算ということです。何か御質問、御意見等ございましたらお願いしたいと思いますが。

**【委員】**

これは負担金として町が出した 1 万 5,000 円で、残ったお金はとりあえず町に返還するというこの規定によってということによろしいですね。

要するに、残ったお金を繰り越しにするんじゃなくて、町に返すんだということの基本ということですね。

【事務局】

はい。

【会長】

よろしいですか。でも、これ、そういうことじゃないですよ。繰越金の予算 73 円というのは、前年度が繰越したが、今年度は最初ゼロに見込んでおくということじゃないですか。

【事務局】

今年度の分を返すため、来年度は繰越金がないことから、このような形となります。

【会長】

そのほかいかがでしょうか。

会議としての予算は少ないですが、当然町として公共交通関係に予算をつけていただいて、じゅんかい君の運行とかバスマップの作成、今年度はやりますが、そういったものをしていただけるといいことだと思います。

ありがとうございました。では、御承認いただいたということにさせていただきます。

【会長】

では、(6)その他ですが、何か事務局からございますでしょうか。

【事務局】

議題のその他に関しては特にございません。

【会長】

以上で、予定の議題を全て終了となります。私の進行を終わりたいと思います。

皆さん、いろいろ御意見を賜りましたこと、ありがとうございます。

進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】

以上を持ちまして、平成30年度第4回東郷町地域公共交通会議を終了します。ありがとうございました。